

## あなたの119番通報が生命、財産を守る！



火災や救急はいつ、どこで発生するか分かりません。火事を目の当たりにしたり、家族が苦しんでいる時など非常事態にあうと、誰でもあわててしまうものです。119番通報の例を紹介します。いざという時にあわてないためにも、是非シミュレーションしてみてください。

正しい119番通報は、消防士のスムーズな活動をたすけて、あなたの生命、財産を守ることに繋がります。



※正しい119番通報例(色付き部分は通信員があなたに質問する項目です)

火事の場合	救急車が必要な場合
消防119番です。火事ですか？救急ですか？	
火事です。	救急です。
住所を教えてください。	
〇〇市(町)〇〇町〇〇番地です。	
世帯主名(建物名)を教えてください。	
〇〇〇〇(世帯主名や建物名)です。	
何が燃えていますか？	何歳の方がどうされましたか？
ここで消防隊・救急隊に出動する準備をするよう指令をします。指令を受け、消防署の隊員が出動の準備をします。	
住宅の2階にある寝室が燃えています。	60歳の男性です。お腹を痛がっています。
逃げ遅れた人やケガをした人はいますか？	具合の悪い方は何かご病気をお持ちですか？
逃げ遅れはいません。男性1名がヤケドをしました。	〇〇(持病)で、〇〇病院を受診しています。
ここで消防隊・救急隊に出動指令をし、各隊が消防署から出動します。	
今電話しているあなたのお名前、今使用している電話番号を教えてください。	
〇〇(名前)です。電話番号は〇〇-〇〇〇〇です。	
消防車(救急車)がそちらに向かっていきます。電話を切ってお待ち下さい。	

【ポイント】  
消防車、救急車が向かう住所を教えてください。災害現場の特定が、消防車や救急車の迅速な出動につながります。

【ポイント】  
「火事です。」または「救急です。」とはっきり伝えてください。

【ポイント】  
他の建物に燃え移りそうかなどの情報も教えてください。

【ポイント】  
いつ頃から具合が悪くなったのか、なぜその様な状態になったのかを出来るだけ詳しく教えてください。呼吸をしていなかったり、喉に物を詰まらせている場合は、必要な処置を通信指令室員が指導します。

**119番通報は「あわてず」・「はっきり」・「正確に」が大切です。**



- ・119番通報したら一方的に話をせず、落ち着いて通信指令室員の問いかけに答えるようにして下さい。
- ・119番通報をしている時、通報しているあなた自身に危険が迫っているようでしたら避難することを優先して下さい。
- ・救急車は緊急時、サイレンを鳴らさずに走行することは出来ませんのでご理解下さい。

※119番は緊急時の回線です。  
病院の照会などは消防本部代表電話へお問い合わせ下さい。

消防本部代表 TEL0254-22-1119